

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00450172	
基幹・一般の別（選択記入）	その他の一般統計調査	
調査の名称	喫煙環境に関する実態調査	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	○	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
		国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
		月例経済報告に利用
		基幹統計の作成に利用
		基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
		その他
特記事項		

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	☒ 1.調査の目的 ☒ 2.調査対象の範囲 ※ ☒ 3.報告者数等※ ☒ 4.報告事項とその基準期日 ※ ☒ 5.報告の方法 ※ ☒ 6.報告を求める期間 ※ ☒ 7.集計事項 ※ ☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ ☒ 9.使用する統計基準 ☒ 10.調査票情報の保存 ☒ 11.立入検査 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 報告を求めるために用いる方法 調査結果の公表の方法及び期日 調査票情報の保存期間及び保存責任者 基幹統計調査のみ 一部不整合あり
-----------------------------	--

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
8. 調査結果の公表の方法及び期日※	☐ 公表実施時期 ☐ e-Statの掲載 ☐ その他 特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 調査結果（概況）の公表について、調査計画上の公表の期日から遅延が発生した。 調査計画上の公表の期日は「調査実施年の翌年1月上旬」であったが、実際の公表日は令和7年7月7日であった。	公表媒体 閲覧表	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し ☐ その他	対応中/対応予定	次回実施時には、調査計画を変更せず、担当者の作業進捗管理を徹底し、調査計画と実態との整合を図る。
	☐ 公表実施時期 ☐ e-Statの掲載 ☐ その他 特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 調査結果（詳細）の公表（e-Stat掲載）について、調査計画上の公表の期日から遅延が発生した。 調査計画上の公表（e-stat掲載）の期日は「調査実施年の翌年7月上旬」であったが、実際の公表日は令和7年7月24日であった。	公表媒体 閲覧表	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し ☐ その他	対応中/対応予定	次回実施時には、調査計画を変更せず、担当者の作業進捗管理を徹底し、調査計画と実態との整合を図る。

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の整備・共有の状況及び実際の業務の実施状況の確認等	□ 課題なし ▣ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
-----------------------------------	---

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	令和5年度に実施した、業務マニュアル（喫煙環境調査 手順書）と統計標準ガイドラインとの整合性チェック結果を踏まえ、不十分な記載について、令和8年度調査の実施状況も踏まえ、年度末までに必要な見直しを実施する。	調査計画の見直し・改善 ○ 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 ○ 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況				目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安と している指標区分 ※該当するものを 選択(複数選択可)		目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
	○ 達成精度	【達成精度】 想定母比率における95%信頼区間の片側の 幅が、第一種施設は8%、その他施設は 5%となるように標本設計を行うこととし ている。	【目標回収(回答)率】 ・第一種施設 60%~80% ・第一種施設に準じる施設 50%~90% ・その他施設 30%~80% ・飲食店 10% ・不動産管理 40% ・鉄道・バス 20%~60%	令和2年3月	95%信頼区間の片側 の幅は、第一種施設 のうち、「幼稚園、 小学校、中学校、高 等学校、中等教育学 校、特別支援学校」 及び「児童福祉施設 (保育所等)」は 4.7%、その他の施設 のうち、「喫茶店、 上記以外の食堂、レ ストラン等」は 2.2%。 有効回答率は 44.1%。	95%信頼区間の片側の 幅は、第一種施設の うち、「児童福祉施 設(保育所等)」は 5.9%、その他の施設 のうち、「事務所、 工場、作業所、倉 庫、配送センター 等」は2.2%。 有効回答率は 45.5%。	95%信頼区間の片側の 幅は、第一種施設の うち、「幼稚園、小 学校、中学校、高等 学校、中等教育学 校、特別支援学校」 は4.9%、その他の施 設のうち、「司法機 関(国)」は1.2%。 有効回答率は 47.3%。
	○ 回収率・回答率						
	回収調査票数						
	カバレッジ						
	その他						
設定なし							